

在宅勤務の時間を活用して地域を支援

株式会社 NTT 東日本-南関東 東京事業部 社員ボランティアの皆様

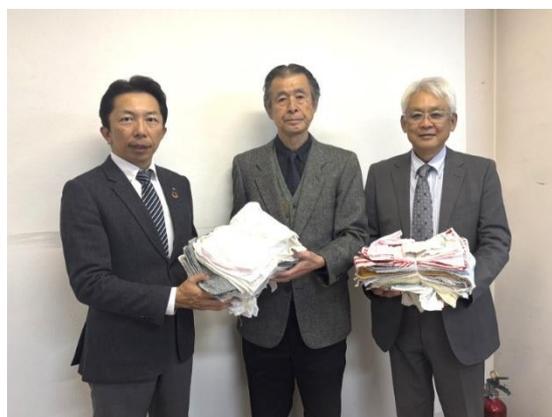
【パートナー団体：社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会 他】

■活動の目的:

NTT 東日本-南関東 東京事業部では、地域社会の持続的な発展に貢献するため、社員が在宅勤務の時間を活用し、地域の福祉・防災・文化支援など多様な分野でボランティア活動を推進しています。企業市民としての責任を果たし、SDGs 達成にも寄与することを目的としています。

■活動を始めたきっかけ(活動開始:2023年10月):

NTT 東日本グループは、社員による社会貢献・地域活性化に資する活動を推進していますが、コロナ禍で社員の働き方が変化したことにより、従来の地域ボランティア活動とは異なる、自宅でも実施できる社会貢献・地域貢献への取り組みを、社員のアイデアを基に実施することとしました。



■活動内容(ボランティア実数:2024年度

参加人数:7,446名、その内在宅ボランティア2,451名):

NTT 東日本 東京事業部では、社員が在宅勤務の働き方の中でも自宅等のできる社会貢献・地域貢献としてのボランティア活動を検討し、以下の4つの取り組みを実施しました。年間を通じて、社員に募集をかけ、社内に設置した『受け取り箱』に自宅にある使用済みタオルや切手、自宅等で作成した折り紙作品を受け取れる環境を整備し、社員から集めたものを定期的に団体等へ寄贈しています。また、社会的に問題となっている振り込め詐欺の防止活動として、警視庁が配布しているチラシを社員が配布し、詐欺被害の未然防止活動に取り組みました。



①使用済みタオルのウエス(ふき取り布)の寄贈 (国分寺市社会福祉協議会様)

社員が自宅で使用済みタオルを加工し、高齢者施設での清掃や介護支援に活用いただきました。284名が参加し、約2,500枚を寄贈しました。

②ホスピタルアート(折り紙)の寄贈(日野市社会福祉協議会様)

社員が自宅で折り紙作品を制作し、季節の装飾として高齢者施設や児童施設に提供しました。213 名が参加し、約 450 点を寄贈しました。

③使用済み切手の寄贈(品川ボランティアセンター様)

社員が自宅に届いた郵便物から使用済み切手を収集し寄贈。収益は高齢者の杖購入などに活用されました。954 名が参加し、約 3,000 枚を提供しました。

④特殊詐欺被害防止チラシの配布

警視庁が作成した注意喚起チラシを社員が配布。取引先や家族・友人などに届けることで、詐欺被害の未然防止に貢献しました。1,000 名が参加しました。

これらの活動は、社員一人ひとりが「良き企業市民」として地域社会とつながり、安心・安全で豊かな社会の実現に向けて行動したものであり、SDGs の達成にも寄与しています。



■活動の成果:

在宅勤務となった働き方においても、社員のアイデアにより地域とのつながりを持ち、地域福祉への支援や地域社会の防犯活動に貢献できました。延べ 2,451 名の活動により、年間3団体へ約 5,950 点の寄贈品提供や約1,000名の社員による特殊詐欺被害防止チラシ配布を行い、地域とのつながりを深め、企業としての社会的責任を果たすとともに、SDGs の目標達成にも寄与しました。

第 11 回企業ボランティア・アワード『特別賞』